



# CHAPTER 30

## SIP-I 透過性およびプロファイル サポート

この機能を使用すると、Session Border Controller (SBC; セッション ボーダ コントローラ) は、Session Initiation Protocol (SIP) メッセージ内に SIP または Public Switched Telephone Network (PSTN; 公衆電話交換網) インターワーキング ゲートウェイによって追加された ISDN User Part (ISUP; ISDN ユーザ パート) パラメータをパススルーできます。

SIP は、マルチメディア セッションを確立、終了、および変更するためのアプリケーション レイヤ プロトコルです。ISUP は、通話コールを制御したり、回線のブロックやリセットなどネットワークを保守したりするために SS7 ネットワークで使用されるレベル 4 プロトコルです。この 2 つのプロトコル間のマッピングは、Media Gateway Controller (MGC; メディア ゲートウェイ コントローラ) によって実行されます。SBC では、ISUP パラメータは SIP Request-Uniform Resource Identifier (URI; ユニフォーム リソース識別子) または SIP メッセージ本文に含まれて伝送されます。



(注) ACE SBC Release 3.0.00 以降では、この機能は統合モデルに限りサポートされます。

### SIP-I 透過性およびプロファイル サポート機能の履歴

リリース	変更内容
ACE SBC Release 3.0.00	この機能は、SBC 統合モデルのサポートとともに Cisco 7600 シリーズ ルータに追加されました。

## この章の構成

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- 「SIP-I 透過性およびプロファイル サポートの制約事項」 (P.30-1)
- 「SIP-I 透過性およびプロファイル サポートについて」 (P.30-2)
- 「SIP-I 透過性およびプロファイル サポートの実装方法」 (P.30-2)
- 「show コマンドの例」 (P.30-3)

## SIP-I 透過性およびプロファイル サポートの制約事項

Session Initiation Protocol (SIP) -I 透過性およびプロファイル サポートには、次の制約および制限が適用されます。

- SBC では、SIP メッセージ内の Session Description Protocol (SDP) 以外の本文だけをパススルーまたは除去できます。この機能は、さらに単一の隣接単位フラグに制限されます。
- 既存の単一の隣接単位フラグを使用して SDP 以外の本文のパススルーを制御している場合、このフラグは必須でないメソッドを制御しません。
- 複数の SDP コンテンツ タイプが 1 つの要求に存在する場合、メソッドは拒否され、501 応答コードが生成されます。
- DUAL Tone MultiFrequency (DTMF) インターネットワーキングがコールに対してイネーブルになっている場合、DTMF デジタルを含む INFO メッセージはパススルーできません。
- SBC は、Secure Multipurpose Internet Mail Extensions (S/MIME; セキュア多目的インターネットメール拡張) 暗号化または復号化をサポートしていません。SBC は暗号化された本文のパススルーを許可する場合がありますが、その本文を変更することはありません。
- RFC 3398 のセクション 8.2.1.1 の準拠により、SBC はユーザ名のない From ヘッダーをサポートしていません。
- パススルーが許可される MIME 本文とその関連ヘッダーの合計サイズは、約 1000 バイトに制限されます。最終的に許可されるサイズは、ヘッダーおよび MIME 本文の構造によって異なりますが、2000 バイトを超えないようにする必要があります。
- SBC では、MIME 本文の元の順序が維持されず、SDP が最初の本文部分として挿入されることがあります。
- この機能は、H.323 では機能しません。
- SBC は BYE 要求にホップバイホップ ベースで対応するため、受信した BYE 応答を使用して情報を渡すことはありません。
- SBC は、Request-URI 上の user=phone URI パラメータのパススルーを許可します。
- SBC は、メッセージの MIME 境界を変更することがあります。

## SIP-I 透過性およびプロファイル サポートについて

SBC は、次の内容をサポートします。

- アプリケーションまたは SDP を INVITE、UPDATE、PRACK の各要求およびその応答に基づいて処理します。
- アプリケーションまたは DTMF-info を INFO に基づいて処理して、DTMF トーンのパススルーを許可します。
- メッセージまたは SIP フラグの NOTIFY メッセージを分析して、サブスクリプション ダイアログまたは参照ダイアログの終了を意味しているかどうかを確認します。

## SIP-I 透過性およびプロファイル サポートの実装方法

ここでは、SIP 隣接での SIP-I パススルーを設定する手順について説明します。

### 手順概要

1. `configure`
2. `sbc service-name`
3. `sbe`

4. `adjacency sip adjacency-name`
5. `sipi passthrough`
6. `exit`

### 詳細手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>configure</code>  例： host1/Admin# <code>configure</code>	グローバル コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。
ステップ 2	<code>sbc service-name</code>  例： host1/Admin(config)# <code>sbc mysbc</code>	SBC サービス モードを開始します。  • サービス名を定義するには、 <i>service-name</i> 引数を使用します。
ステップ 3	<code>sbe</code>  例： host1/Admin(config-sbc)# <code>sbe</code>	SBC の Signaling Border Element (SBE; シグナリング ボーダ エレメント) 機能モードを開始します。
ステップ 4	<code>adjacency sip adjacency-name</code>  例： host1/Admin(config-sbc-sbe)# <code>adjacency sip test</code>	SBE SIP 隣接モードを開始します。  • サービス名を定義するには、 <i>adjacency-name</i> 引数を使用します。
ステップ 5	<code>sipi passthrough</code>  例： host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# <code>sipi passthrough</code>	SIP-I パススルー用に SIP 隣接を設定します。
ステップ 6	<code>exit</code>  例： host1/Admin(config-sbc-sbe-adj-sip)# <code>exit</code>	adj-sip モードを終了し、SBE モードに戻ります。

## show コマンドの例

```
# show services sbc mySbc sbe adjacencies SipToIsp42 detail
SBC server mySbc
Adjacency SipToIsp42
Status: Attached
Signaling address: 10.2.0.122:5060
Signaling-peer:    200.200.200.179:8888
Force next hop:   No
Account:   core
Group:     None
In Header Profile:  Default
Out Header Profile: Default
In method profile:  Default
Out method profile: Default
In UA option profile: Default
```

## ■ show コマンドの例

```
Out UA option profile:  Default
In proxy option profile: Default
Priority set name:      Default
Local-id:              None
Rewrite REGISTER:     Off
Target address:       None
NAT Status:           Auto-Detect
Reg-min-expiry:       3000 seconds
Fast-register:        Enabled
Fast-register-int:    30 seconds
Authenticated mode:   None
Authenticated realm:  None
Authenticated nonce life time: 300 seconds
IMS visited NetID:    NOne
Inherit profile:      Default
Force next hop:       No
Home network ID:      None
UnEncrypt key data:   None
SIPIpassthrough:     No
Rewrite from domain:  Yes
Rewrite to header:    Yes
Media passthrough:    No
Preferred transport:  UDP
Hunting Triggers:     Global Triggers
Redirect mode:         Passthrough
Security:              Untrusted
```